

# 平成28年度インターンシップ実習報告書

実習先:三菱電機 福山製作所

学籍番号:T161D002

学科学年:電子情報数理教育プログラム 修士1年

氏名:安達 大悟

## ■インターンシップへの参加目的

実際の就職活動を行う前に選考があるインターンシップへ参加することで、就職活動における選考の流れを知り、面接等の雰囲気をつかむため。

企業での仕事を実際に体験することで、大学で学んだことが社会でどのように役立っているのかを知り、今後の研究のモチベーションを高めるため。

社会人として働くために必要な能力を知り、それを身に着けたいと考えたため。

## ■受入企業選定理由

学部生の時に FLC に所属しており、異なる専門分野の学生と協力してさまざまな活動を行ってきた。そのため、様々な分野の技術者が協力して製品の設計・開発・製造を行っている、総合電機メーカーに興味を持ったため。

三菱電機のインターンシップでは、エントリーシートの作成や WEB 適正テスト、面接といった実際の就職活動における選考の流れを体験できると考えたため。

WEB ページ内で公開されているインターンシップレポートや、WEB セミナー等を通してインターンシップを体験した学生の感想等を知ることができ、非常に役立つ内容であると考えたため。

三菱電機では海水を利用したアンテナなど、ユニークな技術を開発しており、技術を大切にしている企業だと考えたため。

## ■得られた成果

大学で行う研究と企業で行う製品開発との違いについて知ることができた。大学での研究は、基本的に個人で一つのテーマに取り組み、研究室の先生との縦方向のやり取りが多くなる。その一方で、企業での製品開発は、さまざまなプロセスを多人数で役割分担し、仕様書によってグループ間で情報共有するなど横方向のやり取りも必要となる。

企業でのものづくりをする上で大切なことを知ることができた。企業では、実際に製品を製造する向上の現場だけでなく、事務所内でもさまざまな安全対策を実施するなどによって、安全第一を徹底している。また、開発における各プロセスに対応した仕様書の作製と、その仕様書に対応した試験を実施することで、製品の信頼性や品質を確保している。さらに、製品に対する顧客からの苦情や要望を製品開発に反映させ、つくりっぱなしにはしていない。

自分自身や研究室の課題を見つけることができた。自分自身の課題は、何か新しいことを勉強する際に表層だけで満足してしまうことである。企業では、自分たちが作っている製品については深い知識が必要となるため、これからは物事を深く掘り下げる姿勢を身に着けたい。研究室の課題としては、後輩のための引き継ぎ資料の書式が統一されていなかったり、シミュレーションのための自作ライブラリが共有されていなかったりするなど、情報の共有がうまく行われていない点である。今後は、情報の共有方法を明確にして研究の効率を良くしたい。

実習内容は、実務に非常に近い内容であったため、総合電機メーカーで働くことのイメージを掴むことができた。

#### ■実習を通じて感じたこと

学校に授業料を納める学生と、会社から給料を受け取る社会人の意識の違いを感じることができた。お金を受け取ることで発生する仕事への責任感を、社員の方から感じ取れた。

学生が抱えるのタスクは直列であり、あるタスクを終わらせた後に次のタスクに移ればよい。しかし、社会人ではタスクが並列となり、複数のタスクに優先順位をつけながら並列してこなす必要があると学んだ。

#### ■後輩へのアドバイス

選考のある長期インターンシップは、エントリーシートの記入や面接など非常に準備が大変です。しかし、それらの準備は実際の採用選考の流れを体験できるものです。さらに、実習では実際に社員の方と一緒に会社へ通い、同じ部屋で実習を行うなど、社会人の体験をすることができるものです。そのため、自分の技術やコミュニケーション能力を試すだけでなく、自分が大学や大学院を卒業した後の生活について、よく考える機会となります。長期インターンシップを行うことで、自分自身の長所や短所を見つけることができ、自信を持って就職活動に取り組むことができると思います。ぜひ、インターンシップに参加してみてください。

#### ■最後に

インターンシップは、社会人の体験をすることができる非常に良い機会です。自分が社会人になったときの働くイメージをつかむために、ぜひ参加してみてください。

#### 具体的な実習内容を記入してください

- ・実習内容や、安全対策についてのガイダンス
- ・遮断器製造工場見学
- ・遮断器の仕組みや機能、新製品についての座学
- ・電力量測定機能付き遮断器(MDU ブレーカ)についての座学
- ・新型 MDU ブレーカのソフトウェアについての試験項目の作成
- ・新型 MDU ブレーカのソフトウェアについての試験の実施
- ・実習成果報告会用資料の作成
- ・実習成果報告会の実施
- ・各事業所のインターン生全員による、集合研修